Ⅰ　学校調査

１　幼稚園

[Ⅰ-1-1表] 　　主要指標の推移



（１）園　数

ア　園数は587園で、前年度より40園減少している。

イ　設置者別では、国立1園(構成比0.2％)、公立247園(同42.1％)、私立339園(同57.8％)で、前年度より公立は30園、私立は10園、それぞれ減少している。

ウ　市町村別では、大阪市172園、堺市47園、吹田市31園の順である。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[Ⅰ-1-1表・統計表1]

（２）学級数

ア　学級数は3,446学級で、前年度より175学級減少している。

イ　設置者別では、国立6学級(構成比0.2％)、公立675学級(同19.6％)、私立2,765学級(同80.2％)で、前年度より公立は45学級、私立は130学級、それぞれ減少している。

ウ　市町村別では、大阪市978学級、堺市341学級、吹田市242学級の順である。

エ　１園当たりの学級数は5.9学級で、前年度より0.1学級増加している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 [Ⅰ-1-1表・統計表1]

（３）在園者数

ア　在園者数は81,942人（男子41,270人、女子40,672人）で、前年度より4,881人減少している。

イ　設置者別では、国立148人(構成比0.2％)、公立13,567人(同16.6％)、私立68,227人(同83.3％)で、前年度より国立は1人、公立は1,387人、私立は3,493人、それぞれ減少している。

ウ　年齢別では、3歳児23,739人(構成比29.0％)、4歳児28,488人(同34.8％)、5歳児29,715人(同36.3％）で、前年度より3歳児は911人、4歳児は1,828人、5歳児は2,142人、それぞれ減少している。

エ　市町村別では、大阪市23,995人、堺市7,934人、吹田市6,596人の順である。

オ　１学級当たりの在園者数は23.8人で、前年度より0.2人減少している。

カ　教員(本務者)１人当たりの在園者数は13.1人で、前年度より0.5人減少している。

　　[Ⅰ-1-1表・Ⅰ-1-2表・統計表2]

[Ⅰ-1-2表] 　　入園年齢別在園者数



（４）入園者数

ア　入園者数は27,715人（男子13,952人、女子13,763人）で、前年度より1,794人減少している。

イ　設置者別では、国立58人(構成比0.2％)、公立6,163人(同22.2％)、私立21,494人(同77.6％)で、前年度より国立は3人、公立は437人、私立は1,354人、それぞれ減少している。

ウ　年齢別では、3歳児21,592人(構成比77.9％)、4歳児5,341人(同19.3％)、5歳児782人(同2.8％）で、前年度より3歳児は1,036人減少、4歳児は812人減少、5歳児は54人増加している。

　　　　　　　[Ⅰ-1-2表・Ⅰ-1-3表・Ⅰ-1-1図・Ⅰ-1-2図]

[Ⅰ-1-3表] 　　設置者別男女別入園者数



 　[Ⅰ-1-1図]　年齢別入園者数の推移 [Ⅰ-1-2図]　公立・私立別入園者数の推移



（５）認可定員及び定員充足率

ア　認可定員は129,823人で、前年度より7,445人減少している。また、設置者別では、国立150人(構成比0.1％)、公立32,039人(同24.7％)、私立97,634人(同75.2％)で、前年度より公立は3,869人、私立は3,576人、それぞれ減少している。

イ　定員充足率は63.1％で、前年度より0.2ポイント低下している。また、設置者別では、国立98.7％、公立42.3％、私立69.9％で、前年度より国立は0.6ポイント低下、公立は0.7ポイント上昇、私立は1.0ポイント低下している。

[Ⅰ-1-4表・Ⅰ-1-3図]

[Ⅰ-1-4表] 　　認可定員・在園者数・定員充足率



（６）教員数（本務者）　　　　　　　　　　　　　　[Ⅰ-1-3図] 公立・私立別定員充足率の推移

ア　教員数(本務者)は6,258人（男性257人、女性6,001人）で、前年度より140人減少している。

イ　設置者別では、国立9人（構成比0.1％)、

公立1,380人（同22.1％)、私立4,869人

（同77.8％)で、前年度より国立は1人、公立は104人、私立は35人、それぞれ減少している。

　　　　　　　　　　[Ⅰ-1-1表・統計表3]

２　幼保連携型認定こども園

[Ⅰ-2-1表] 　　主要指標の推移



（１）園　数

ア　園数は578園で、前年度より67園増加している。

イ　設置者別では、公立77園(構成比13.3％)、私立501園(同86.7％)で、前年度より公立は8園、私立は59園、それぞれ増加している。

ウ　市町村別では、堺市117園、大阪市50園、豊中市43園の順である。

[Ⅰ-2-1表･統計表7]

（２）学級数（3から5歳児）

ア　学級数は2,504学級で、前年度より282学級増加している。

イ　設置者別では、公立349学級(構成比13.9％)、私立2,155学級(同86.1％)で、前年度より公立は56学級、私立は226学級、それぞれ増加している。

ウ　市町村別では、堺市431学級、大阪市244学級、東大阪市232学級の順である。

エ　1園当たりの学級数は4.3学級で、前年度と同数である。

[Ⅰ-2-1表・統計表7]

（３）在園者数

ア　在園者数は85,271人（男子43,803人、女子41,468人）で、前年度より9,204人増加している。

イ　設置者別では、公立11,030人(構成比12.9％)で、私立74,241人(同87.1％)で、前年度より公立は1,638人、私立は7,566人、それぞれ増加している。

ウ　年齢別では、0歳児4,312人（構成比5.1％）、1歳児10,018人（同11.7％）、2歳児11,888人（同13.9％）、3歳児19,656人(同23.1％)、4歳児19,802人(同23.2％)、5歳児19,595人(同23.0％）で、前年度より0歳児527人、1歳児976人、2歳児1,282人、3歳児2,162人、4歳児2,321人、5歳児1,936人、それぞれ増加している。

エ　市町村別では、堺市16,966人、大阪市7,652人、東大阪市7,078人の順である。

オ　3から5歳児の１学級当たりの在園者数は23.6人で、前年度より0.1人減少している。

カ　教育・保育職員(本務者)１人当たりの在園者数は6.2人で、前年度より0.1人減少している。

[Ⅰ-2-1表・Ⅰ-2-2表・Ⅰ-1-2図・統計表8]

[Ⅰ-2-2表] 　　入園年齢別在園者数



（４）入園者数（3から5歳児）

ア　入園者数は、14,726人（男子7,486人、女子7,240人）で、前年度より1,652人増加している。

イ　設置者別では、公立2,668人(構成比18.1％)、私立12,058人(同81.9％)で、前年度より公立は243人、私立は1,409人、それぞれ増加している。

ウ　年齢別では、3歳児9,008人(構成比61.2％)、4歳児3,310人(同22.5％)、5歳児2,408人(同16.4％）で、前年度より3歳児は1,106人、4歳児は301人、5歳児は245人、それぞれ増加している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[Ⅰ-2-2表・Ⅰ-2-3表]

[Ⅰ-2-3表] 　　設置者別男女別入園者数

 [Ⅰ-2-1図] 年齢別在園者数 [Ⅰ-2-2図] 公立・私立別在園者数の推移



（５）認可定員及び定員充足率

ア 認可定員は93,425人で、前年度より11,136人増加している。

また、設置者別では、公立13,083人(構成比14.0％)、私立80,342人(同86.0％)で、前年度より公立は1,865人、私立は9,271人、それぞれ増加している。

イ　定員充足率は91.3％で、前年度より1.1ポイント低下している。

　また、設置者別では、公立84.3％、私立92.4％で、前年度より公立は0.6ポイント上昇、私立は1.4ポイント低下している。

[Ⅰ-2-4表･Ⅰ-2-3図]

[Ⅰ-2-4表] 　　認可定員・在園者数・定員充足率

[Ⅰ-2-3図]　公立・私立別定員充足率の推移



（６）教育・保育職員数（本務者）

ア　教育・保育職員数(本務者)は13,863人（男性710人、女性13,153人）で、前年度より1,784人増加している。

イ　設置者別では、公立1,738人（構成比12.5％)、私立12,125人（同87.5％)で、前年度より公立は257人、私立は1,527人、それぞれ増加している。

[Ⅰ-2-1表・統計表9]

３　小学校

[Ⅰ-3-1表] 　　主要指標の推移

（１）学校数

ア　学校数は999校で、前年度より5校減少している。

イ　設置者別では、国立3校(構成比0.3％)、公立979校(同98.0％)、私立17校(同1.7％)で、前年度より公立は5校減少している。

ウ　市町村別では、大阪市302校、堺市94校、東大阪市49校の順に多く、能勢町・田尻町1校、忠岡町・太子町・河南町・千早赤阪村2校の順に少ない。

[Ⅰ-3-1表・統計表13]

（２）学級数

ア　学級数は18,816学級で、前年度より83学級増加している。

イ　設置者別では、国立54学級(構成比0.3％)、公立18,531学級(同98.5％)、私立231学級(同1.2％)で、前年度より公立は83学級増加している。

ウ　学級編制方式別では、単式学級13,903学級(構成比73.9％)、複式学級10学級(同0.1％)、特別支援学級4,903学級(同26.1％)で、前年度より単式学級は220学級減少、特別支援学級は303学級増加している。

エ　市町村別では、大阪市5,251学級、堺市1,802学級、枚方市952学級の順に多く、能勢町17学級、千早赤阪村18学級、田尻町21学級の順に少ない。

また、前年度と比べると、大阪市135学級、吹田市20学級、豊中市12学級の順に増加し、東大阪市45学級、八尾市17学級、河南町11学級の順に減少している。

[Ⅰ-3-1表・Ⅰ-3-2表・統計表13・付表-7]

[Ⅰ-3-2表] 　 学級編制方式別学級数・児童数

（３）児童数

ア　児童数は433,013人（男子221,410人、女子211,603人）で、前年度より5,961人減少している。

イ　設置者別では、国立1,861人(構成比0.4％)、公立424,663人(同98.1％)、私立6,489人(同1.5％)で、前年度より国立は6人増加、公立は5,971人減少、私立は4人増加している。

ウ　学級編制方式別では、単式学級407,218人(構成比94.0％)、複式学級68人(同0.0％)、特別支援学級25,727人(同5.9％)で、前年度より単式学級は8,162人減少、複式学級は10人増加、特別支援学級は2,191人増加している。

エ　市町村別では、大阪市118,867人、堺市44,335人、豊中市22,239人の順に多く、千早赤阪村201人、能勢町300人、田尻町505人の順に少ない。

また、前年度と比べると豊中市242人、箕面市117人、大阪市115人の順に増加し、東大阪市1,704人、堺市899人、高槻市459人の順に減少している。

オ　１学級当たりの児童数は23.0人で、前年度より0.4人減少している。

　また、市町村別では、熊取町が25.7人、大阪狭山市が25.3人、吹田市・和泉市が24.8人の順に多い。

カ　教員(本務者)１人当たりの児童数は15.3人で、前年度より0.3人減少している。

[Ⅰ-3-1表・Ⅰ-3-2表・Ⅰ-3-3表・統計表14・付表-5]

[Ⅰ-3-3表] 設置者別男女別児童数



[Ⅰ-3-4表] 　　学年別児童数



（４）帰国児童数・外国人児童数

ア　帰国児童数は368人で、前年度間より29人減少している。

イ　外国人児童数は4,658人で、前年度より359人増加している。

[Ⅰ-3-5表・Ⅰ-3-6表]

[Ⅰ-3-5表] 　 帰国児童数 　　　[Ⅰ-3-6表]　　外国人児童数



（５）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は28,319人（男性10,777人、女性17,542人）で、前年度より267人増加している。

イ　設置者別では、国立78人(構成比0.3％)、公立27,802人(同98.2％)、私立439人(同1.6％)で、前年度より国立は2人減少、公立は258人増加、私立は11人増加している。

[Ⅰ-3-1表・統計表16]

４　中学校

[Ⅰ-4-1表] 　　主要指標の推移

（注）平成28年度から二部授業の「学級数」「生徒数」「担当教員数」は含まれていない。

（１）学校数

ア　学校数は521校で、前年度より4校減少している。

イ　設置者別では、国立3校(構成比0.6％)、公立455校(同87.3％)、私立63校(同12.1％)で、前年度より公立は4校減少している。

ウ　市町村別では、大阪市158校、堺市47校、東大阪市25校の順に多く、能勢町・忠岡町・田尻町・岬町・河南町・千早赤阪村1校、島本町・豊能町・太子町2校の順に少ない。

[Ⅰ-4-1表・統計表22]

（２）学級数

ア　学級数は8,028学級で、前年度より21学級増加している。

イ　設置者別では、国立33学級(構成比0.4％)、公立7,345学級(同91.5％)、私立650学級(同8.1％)で、前年度より公立は28学級増加、私立は7学級減少している。

ウ　学級編制方式別では、単式学級6,162学級(構成比76.8％)、複式学級1学級（同0.0％）、特別支援学級1,865学級(同23.2％)で、前年度より単式学級は105学級減少、複式学級は同数、特別支援学級は126学級増加している。

エ　市町村別では、大阪市2,245学級、堺市766学級、東大阪市419学級の順に多く、千早赤阪村6学級、能勢町9学級、田尻町・岬町12学級の順に少ない。

また、前年度より、大阪市48学級、豊中市13学級、高槻市8学級の順に増加し、東大阪市25学級、八尾市8学級、泉大津市・寝屋川市・門真市4学級の順に減少している。

[Ⅰ-4-1表・Ⅰ-4-2表・統計表22・付表-5]

[Ⅰ-4-2表]　 学級編制方式別学級数・生徒数



（３）生徒数

ア　生徒数は221,426人（男子113,088人、女子108,338人）で、前年度より3,879人減少している。

イ　設置者別では、国立1,232人(構成比0.6％)、公立199,048人(同89.9％)、私立21,146人(同9.5％)で、前年度より、国立は42人、公立は3,682人、私立は155人、それぞれ減少している。

ウ　学級編制方式別では、単式学級212,728人(構成比96.1％)、複式学級5人（同0.0％）、特別支援学級8,693人(同3.9％）で、前年度より単式学級は4,601人減少、複式学級は3人増加、特別支援学級は719人増加している。

エ　市町村別では、大阪市60,224人、堺市22,005人、東大阪市11,348人の順に多く、千早赤阪村107人、能勢町188人、田尻町277人の順に少ない。

また、前年度より箕面市83人、大東市76人、大阪狭山市39人の順に増加し、東大阪市769人、八尾市360人、大阪市349人の順に減少している。

オ　１学級当たりの生徒数は27.6人で、前年度より0.5人減少している。

また、市町村別では、高石市32.0人、交野市31.9人、寝屋川市・大阪狭山市・四條畷市30.0人の順に多い。

カ　教員(本務者)１人当たりの生徒数は13.2人で、前年度より0.3人減少している。

[Ⅰ-4-1表・Ⅰ-4-2表・Ⅰ-4-3表・統計表23・付表-5]

[Ⅰ-4-3表]　 　 　 設置者別男女別生徒数



[Ⅰ-4-4表] 学年別生徒数



（４）帰国生徒数・外国人生徒数

ア　帰国生徒数は162人で、前年度間より26人増加している。

イ　外国人生徒数は2,017人で、前年度より44人増加している。

[Ⅰ-4-5表・Ⅰ-4-6表]

[Ⅰ-4-5表]　 帰国生徒数 　　　　 　[Ⅰ-4-6表]　外国人生徒数



　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　(注)平成28年度より、二部授業の生徒数は含まれていない。

（５）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は16,777人（男性9,088人、女性7,689人）で、前年度より77人増加している。

イ　設置者別では、国立64人(構成比0.4％)、公立15,328人(同91.4％)、私立1,385人(同8.3％)で、前年度より、国立は1人減少、公立は75人増加、私立は3人増加している。

[Ⅰ-4-1表・統計表25]

（６）二部授業を行う学校

ア　二部授業(夜間学級)を実施している学校は10校で、前年度と同数である。

イ　生徒数は761人で、前年度より10人減少している。

　[Ⅰ-4-7表]

[Ⅰ-4-7表] 二部授業を行う学校数・学級数・生徒数

及び担当教員数(公立のみ)



５　義務教育学校

[Ⅰ-5-1表] 　　主要指標の推移

（１）学校数

　　　学校数は7校（公立）で、前年度より3校増加している。

　　[Ⅰ-5-1表・統計表31]

（２）児童生徒数

ア　児童生徒数は4,194人（男子2,106人、女子2,088人）で、前年度より2,481人増加している。

イ　教員（本務者）１人当たりの児童生徒数は、11.7人で、前年度より2.2人増加している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[Ⅰ-5-1表・Ⅰ-5-2表・統計表32]

[Ⅰ-5-2表]　　　　　　　　　課程別・学年別児童生徒数

（３）教員数（本務者）

教員数（本務者）は358人（男性176人、女性182人）で、前年度より178人増加している。

　 [Ⅰ-5-1表・統計表34]

（４）二部授業を行う学校　　　　　　　　　　　[Ⅰ-5-3表] 二部授業を行う学校数・学級数・

ア　二部授業(夜間学級)を実施している　　　　　　　　　生徒数及び担当教員数(公立のみ)

　学校は1校で、前年度と同数である。

イ　生徒数は139人で、前年度より19人

増加している。

[Ⅰ-5-3表]

６　高等学校（全日制・定時制）

[Ⅰ-6-1表] 　　主要指標の推移

（１）学校数

ア　学校数は260校で、前年度と同数である。

イ　設置者別では、国立1校(構成比0.4％）、公立162校(同62.3％）、私立97校(同37.3％）で、前年度と同数である。

ウ　課程別では、全日制課程のみを置く学校が239校、定時制の課程のみを置く学校が4校、全日制・定時制の両課程を併置している学校が17校である。

エ　市町村別では、大阪市92校、堺市24校、東大阪市14校の順である。

[Ⅰ-6-1表・統計表36]

（２）学科数

ア　学科数は337学科で、前年度より1学科減少している。

イ　課程別では、全日制課程313学科、定時制課程24学科である。

ウ　学科分野別では、普通科207学科、専門教育を行う学科として農業科2学科、工業科23学科、商業科13学科、家庭科3学科、看護科3学科、福祉科2学科、その他の学科48学科、総合学科36学科である。

[Ⅰ-6-2表]

[Ⅰ-6-2表] 　　課程別学科数



（３）生徒数

ア　生徒数は220,504人（男子110,758人、女子109,746人）で、前年度より6,453人減少している。

イ　設置者別では、国立1,338人(構成比0.6％）、公立126,320人(同57.3％）、私立92,846人(同42.1％）で、前年度より国立は6人、公立は5,127人、私立は1,320人、それぞれ減少している。

ウ　課程別では、全日制課程217,016人(構成比98.4％)、定時制課程3,488人(同1.6％)で、前年度より全日制課程は6,244人、定時制課程は209人、それぞれ減少している。

エ　学科分野別では、普通科165,932人(構成比75.3％)が最も多く、次いでその他19,187人(同8.7％)、総合学科16,879人(同7.7％)、工業科11,907人（同5.4％)、商業科3,999人 (同1.8％）となっている。

オ　市町村別では、大阪市76,683人、堺市20,337人、東大阪市13,051人の順に多い。

また、前年度より箕面市72人、岸和田市55人、高石市18人の順に増加し、大阪市2,226人、堺市482人、東大阪市352人の順に減少している。

カ　１校当たりの生徒数は848.1人で、前年度より24.8人減少している。

キ　教員(本務者)１人当たりの生徒数は15.1人で、前年度より0.2人減少している。

[Ⅰ-6-1表・Ⅰ-6-3表・Ⅰ-6-4表・Ⅰ-6-1図・Ⅰ-6-2図・統計表38・付表-5]

[Ⅰ-6-3表] 　　設置者別生徒数



[Ⅰ-6-4表] 　　　学科別生徒数

[Ⅰ-6-5表] 　　学年別生徒数



[Ⅰ-6-1図]　 学科別生徒数



[Ⅰ-6-2図] 学科別生徒数の推移

（４）帰国生徒数・外国人生徒数

ア　帰国生徒数は115人で、前年度間より26人増加している。

イ　外国人生徒数は1,350人で、前年度より76人減少している。

[Ⅰ-6-6表・Ⅰ-6-7表]

[Ⅰ-6-6表]　　帰国生徒数 　　　　　　 [Ⅰ-6-7表] 外国人生徒数



（５）入学状況

ア　入学定員は78,858人で、前年度より1,626人減少している。

設置者別では、国立440人（構成比0.6％）、公立43,463人（同55.1％）、私立34,955人（同44.3％）で、前年度より、公立は1,483人、私立は143人、それぞれ減少している。

イ　入学志願者は126,562人で、前年度より3,590人減少している。

設置者別では、国立545人（構成比0.4％）、公立48,648人（同38.4％）、私立77,369人（同61.1％）で、前年度より国立は68人増加、公立は2,985人減少、私立は673人減少している。

ウ　入学者は72,777人で、前年度より2,542人減少している。

設置者別では、国立448人（構成比0.6％）、公立41,264人（同56.7％）、私立31,065人（同42.7％）で、前年度より国立は4人、公立は2,028人、私立は510人、それぞ減少している。

[Ⅰ-6-8表・統計表41]

[Ⅰ-6-8表] 入学状況



（６）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は14,614人（男性9,653人、女性4,961人）で、前年度より219人減少している。

イ　設置者別では、国立84人(構成比0.6％)、公立9,272人(同63.4％)、私立5,258人(同36.0％)で、前年度より、国立は1人増加、公立は186人減少、私立は34人減少している。

ウ　課程別では、全日制課程14,061人(構成比96.2％）、定時制課程553人(同3.8％）で、前年度より全日制課程は210人、定時制課程は9人減少している。

[Ⅰ-6-1表・統計表42]

７　高等学校（通信制）

[Ⅰ-7-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

ア　学校数は10校で、前年度と同数である。

イ　設置者別では、公立1校(構成比10.0％)、私立9校(同90.0％)である。このうち独立校（通信制課程のみの学校)は、私立8校である。

[Ⅰ-7-1表]

（２）生徒数

ア　生徒数は16,698人（男子9,080人、女子7,618人）で、前年度より564人増加している。

イ　設置者別では、公立2,028人(構成比12.1％)、私立14,670人(同87.9％)である。

[Ⅰ-7-1表・統計表49]

（３）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は292人で、前年度より14人増加している。

イ　設置者別では、公立46人(構成比15.8％)、私立246人(同84.2％)である。

[Ⅰ-7-1表]

（４）教員数（兼務者）

ア　教員数(兼務者)は1,012人で、前年度より13人減少している。

イ　設置者別では、公立337人(構成比33.3％)、私立675人(同66.7％)である。

[Ⅰ-7-1表]

８　中等教育学校

[Ⅰ-8-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

学校数は1校（私立）で、前年度と同数である。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　 [Ⅰ-8-1表]

（２）生徒数

ア　生徒数は359人（男子244人、女子115人）で、前年度より104人減少している。

イ　課程別では、前期課程は126人で、前年度より25人減少、後期課程は233人で、前年度より79人減少している。

ウ　教員(本務者)１人当たりの生徒数は10.9人で、前年度より0.4人減少している。

[Ⅰ-8-1表・Ⅰ-8-2表]

[Ⅰ-8-2表] 　　 　課程別生徒数



（３）教員数（本務者）

教員数(本務者)は33人で、前年度より8人減少している。

[Ⅰ-8-1表]

９　特別支援学校

[Ⅰ-9-1表] 　　主要指標の推移

（１）学校数

ア　学校数は50校で、前年度より1校減少している。

イ　設置者別では、国立1校、公立49校（府立46校、市立3校）で、前年度より公立（市立）1校減少している。

[Ⅰ-9-1表・統計表50]

（２）在学者数

ア　在学者数は9,555人（男子6,290人、女子3,265人）で、前年度より123人増加している。

イ　設置者別では、国立57人(構成比0.6％)、公立9,498人（同99.4％）（府立9,164人(同95.9％)、市立334人(同3.5％)）である。

ウ　部別では、幼稚部116人(構成比1.2％)、小学部2,614人(構成比27.4％)、中学部2,506人(同26.2％)、高等部4,319人(同45.2％)である。

エ　１学級当たりの在学者数は4.1人で、前年度より0.1人増加している。

オ　教員(本務者)１人当たりの在学者数は1.8人で、前年度と同数である。

　[Ⅰ-9-1表・Ⅰ-9-2表]

[Ⅰ-9-2表] 　　男女別在学者数



（３）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は5,378人（男性2,265人、女性3,113人）で、前年度より4人減少している。

イ　設置者別では、国立30人(構成比0.6％)、公立5,348人（同99.4％）（府立5,158人(同95.9％)、市立190人(同3.5％)）である。

　　　[Ⅰ-9-1表・統計表53]

１０　専修学校

[Ⅰ-10-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

ア　学校数は223校で、前年度より3校減少している。

イ　設置者別では、国立1校(構成比0.4％)、公立1校(同0.4％)、私立221校(同99.1％)で、前年度より私立は3校減少している。

ウ　市町村別では、大阪市165校、堺市16校、東大阪市5校の順に多く、全体の74.0％が大阪市に集中している。

[Ⅰ-10-1表・統計表54]

（２）学科数

ア　学科数は963学科で、前年度より7学科増加している。

イ　設置者別では、国立1学科（構成比0.1％)、公立1学科（同0.1％)、私立961学科(同99.8％)である。 　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　 [統計表54]

（３）生徒数

ア　生徒数は74,143人（男子31,920人、女子42,223人）で、前年度より549人増加している。

イ　設置者別では、国立39人(構成比0.0％)、公立68人(同0.1％)、私立74,036人(同99.9％）で、前年度より国立は5人、公立は4人、私立は540人、それぞれ増加している。

ウ　課程別では、高等課程4,856人(構成比6.5％)、専門課程68,892人(同92.9％)、一般課程395人(同0.5％)で、前年度より高等課程は218人減少、専門課程は822人増加、一般課程は55人減少している。

エ　分野別では、文化・教養関係22,706人(同30.6％)が最も多く、次いで医療関係18,557人(構成比25.0％)、工業関係10,385人(同14.0％)となっている。また、医療関係の中では、看護7,572人、文化・教養関係の中では、その他7,028人、衛生関係の中では、美容4,653人が最も多い。

オ　１校当たりの生徒数は332.5人で、前年度より6.9人増加している。

カ　教員(本務者)１人当たりの生徒数は19.0人で、前年度より0.1人増加している。

　[Ⅰ-10-1表・Ⅰ-10-3表・Ⅰ-10-4表・Ⅰ-10-1図・

I-10-2図・統計表54・55]

[Ⅰ-10-2表]　 　　　類型別学校数



[Ⅰ-10-3表] 　　課程別生徒数



[Ⅰ-10-4表] 　　分野別生徒数



[Ⅰ-10-1図] 　分野別生徒数の推移



[Ⅰ-10-2図] 　　　学科別生徒数の割合



（４）入学者数

ア　入学者数（平成31年４月１日から令和元年５月１日までの1か月間の入学者数）は35,632人（男子15,690人、女子19,942人）で、前年度より1,106人増加している。

イ　設置者別では、国立20人（構成比0.1％)、公立42人（同0.1％)、私立35,570人（同99.8％)である。

ウ　課程別では、高等課程1,950人(構成比5.5％)、専門課程33,309人(同93.5％)、一般課程373人(同1.0％)で、前年度より高等課程は51人増加、専門課程は1,122人増加、一般課程は67人減少している。

[Ⅰ-10-5表・統計表55]

[Ⅰ-10-5表]　課程別入学者数



（５）卒業者数

ア　卒業者数（平成30年４月１日から平成31年３月31日までの１年間の卒業者数）は30,053人（男子13,084人、女子16,969人）で、前年度間より730人増加している。

イ　設置者別では、国立14人（構成比0.0％)、公立38人（同0.1％)、私立30,001人（同99.8％)である。

ウ　課程別では、高等課程1,791人(構成比6.0％)、専門課程27,724人(同92.3％)、一般課程538人(同1.8％)で、前年度間より高等課程は53人、専門課程は569人、一般課程は108人、それぞれ増加している。

エ　卒業者のうち、関係分野に就職した者は19,408人で、卒業者数全体の64.6％を占めている。また、課程別では、一般課程1人(一般課程卒業者の0.2％)、高等課程443人(高等課程卒業者の24.7％)、専門課程18,964人(専門課程卒業者の68.4％)である。

[Ⅰ-10-6表・統計表55]

　　　　[Ⅰ-10-6表] 課程別卒業者数



（６）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は3,893人（男性1,914人、女性1,979人）で、前年度より4人減少している。

イ　設置者別では、国立3人(構成比0.1％)、公立4人(同0.1％)、私立3,886人(同99.8％)で、前年度より公立は2人増加、私立は6人減少している。

[Ⅰ-10-1表・統計表54]

（７）教員数（兼務者）

ア　教員数(兼務者)は10,771人（男性6,058人、女性4,713人）で、前年度より285人増加している。

イ　設置者別では、国立50人(構成比0.5％)、公立32人(同0.3％)、私立10,689人(同99.2％)で、前年度より国立は4人、公立は7人、私立は274人、それぞれ増加している。

　　　　　　　　　　　　　　 [Ⅰ-10-1表・統計表54]

１１　各種学校

[Ⅰ-11-1表] 　　主要指標の推移

（１）学校数

ア　学校数は39校（私立39校）で、前年度より3校減少している。

イ 市町村別では、大阪市25校、東大阪市6校、堺市2校の順に多く、全体の64.1％が大阪市に集中している。

[Ⅰ-11-1表・統計表56]

（２）課程数

　課程数は72課程で、前年度と同数である。

　　　　　　　　　　　　　　　　[統計表56]

（３）生徒数

ア　生徒数は10,358人（男子6,252人、女子4,106人）で、前年度より295人減少している。

イ　修業年限別では、1年未満の課程1,003人（構成比9.7％）、1年以上の課程9,355人（同90.3％)である。

ウ　分野別では、その他8,730人(構成比84.3％)が最も多く、次いで文化・教養関係989人(同9.5％)、商業実務関係427人(同4.1％）となっている。その他の内訳を見ると、予備校5,127人、外国人学校2,740人、自動車操縦863人の順になっている。

エ　１校当たりの生徒数は265.6人で、前年度より12.0人増加している。

オ　教員(本務者)１人当たりの生徒数は24.7人で、前年度より1.0人減少している。

[Ⅰ-11-1表・I-11-2表・I-11-3表・Ⅰ-11-1図・統計表57]

[Ⅰ-11-2表] 　 分野別生徒数



[Ⅰ-11-1図] 　　分野別生徒数の推移



（４）入学者数

ア　入学者数（平成31年４月１日から令和元年５月１日までの１か月間の入学者数）は6,653人（男子4,460人、女子2,193人）で、前年度より379人減少している。

イ　課程別では、その他5,989人が最も多い。その他の内訳では予備校5,127人が最も多く、入学者の77.1％を占めている。

　　　　　 　　 [I-11-4表・統計表57]

|  |  |
| --- | --- |
| [Ⅰ-11-3表]  修業年限別生徒数 | [Ⅰ-11-4表]  生徒数・入学者数・卒業者数 |

（５）卒業者数

ア　卒業者数（平成30年４月１日から平成31年３月31日までの１年間の卒業者数）は9,376人（男子6,025人、女子3,351人）で、前年度間より328人減少している。

イ　課程別では、その他8,357人が最も多い。その内訳は予備校5,405人が最も多く、全体の57.6％を占めている。

[I-11-4表・統計表57]

（６）教員数

ア　教員数(本務者)は420人（男性228人、女性192人）で、前年度より6人増加している。

イ　教員数(兼務者)は631人（男性319人、女性312人）で、前年度より8人減少している。

　　　　　　　　　　　　　　　 [I-11-1表・統計表56]